

学校自己評価報告書

| 学校教育目標 一人一人を見つめ、社会自立をめざし、たくましい生活力を育てる。 | | | | | | |
|--|--|---|--|---|----|--------------------------------------|
| 項目 重点 | 中長期経営目標 | 短期経営目標 | 評価項目 (具体的な計画) | 達成状況 | 評定 | 改善方策 |
| 自立と社会参加を目指した「主体的・対話的で深い学び」の充実 | ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「つきたい力を明確にした授業づくり」に焦点を当てた指導・支援のあり方の研究 | ○育成すべき資質・能力の理解 ○「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 | ○「つきたい力」を明確化するための研修 ○授業づくり検討会の実施 | ○「つきたい力」についての共通理解がある程度進み、授業づくりに生かすことができた。 | B | ○授業での「主体的・対話的で深い学び」の具体化 |
| 地域や関係諸機関と連携した教育活動の充実 | ○児童生徒と地域との交流，地域との連携を図った教育活動の実施 | ○地域の学校や地域社会，ボランティアとの交流，居住地校交流の推進 | ○交流及び共同学習や地域へ貢献する活動，地域型実習，地域の施設・機関での販売活動等に取り組む。 | ○オンラインや作品・動画を通じた交流の形で学校間交流を継続（小中）。居住地校交流は2割弱。目標は5割。ボランティア登録者61名。延べ58名が活動に参加。 ○地域への貢献活動，地域型実習，地域での販売活動等を実施した。 | C | ○居住地校交流校への要望や保護者への啓発 |
| 特別支援教育に関する指導力・専門性の向上 | ○人間性・専門性を高め，自信をもって特別支援学校職員の役割を果たす教職員 | ○「個別の教育支援計画」により，保護者と共通理解を図り，よりよい指導・支援をめざす。 | ○本校主催公開講座・OJTや校内研修会への積極的参加による専門性の向上 ○若手教員の育成 | ○中堅教員と若手教員とでOJT研修を継続して行い，若手教員の育成に資することができた。 ○専門家派遣事業等を活用し，具体的な指導助言を受け，日々の実践に活用した。 | B | ○感染症の状況に対応した研修方法・形態等の模索 |
| 児童生徒・保護者・教職員にとつて安全安心な学校 | ○人権尊重の教育の徹底 ○同僚性を培う。働き方改革の推進。 | ○健康な体と思いきやりのある心を育てる。 ○業務内容の見直しと心身の健康を確保する。 | ○自他を大切にすする，人間関係形成能力の育成 ○最終退校時刻の徹底。定時退庁日の設定（月2回） | ○人権標語作成・Good Behaviorカードの活用や自己理解に焦点を当てた授業の取組を実施した。 ○最終退庁はほぼ19時半。会議時間1時間以内。 | B | ○児童生徒の人権に配慮した指導支援と保護者との共通理解に引き続き努める。 |

4段階評定（A：目標を十分に達成 B：ほぼ目標を達成 C：やや不十分 D：改善を要する）

来年度の重点取組（学校自己評価を踏まえた今後の方向性）

- 「主体的・対話的で深い学び」について研究に取り組む。（3年計画の2年目）
- 人間性・専門性を高め，教育相談や困難事例の対応などでは，児童生徒・保護者の気持ちに寄り添いながら，チームとして対応し，特別支援学校職員としての役割を果たしていく。
- 学校での教育活動をさらに積極的に保護者や地域・関係機関に発信し，地域との連携を図った教育活動を充実させる。